

## 令和三年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・国語科全体では、目標値に対して、五年生が全観点で上回る結果になった。
- ・「知識・技能」については、四・六学年で目標値を上回っていた。五年生も目標値と等しい数値となっており、普段から読書に親しめるような活動を多く設定したことによる成果だと考えられる。

#### (2) 課題

- ・言葉の働きやきまり、漢字の理解を更に高める必要がある。
- ・相手や目的・意図に応じて文章を組み立てて書く力が十分ではない。
- ・日常的な読書の習慣や単元における並行読書を通して、語彙に対する知識、理解を高める必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和三年度結果	令和二年度結果	令和元年度結果
第4学年	全体での校内平均率は、目標値より0.4ポイント上回った。		
第5学年	全体での校内平均率は、目標値より2.4ポイント下回った。	全体での校内平均率は、目標値より0.6ポイント上回った。	
第6学年	全体での校内平均率は、目標値より0.3ポイント下回った。	全体での校内平均率は、目標値より1.1ポイント下回った。	全体での校内平均率は、目標値より8.9ポイント上回った。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
第四学年では、目標値に比べ1.6ポイント上回っていた。	第四学年では、目標値に比べ1.3ポイント下回っていた。	第四学年では、目標値に比べ3.8ポイント下回っていた。

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
第五学年では、目標値と同じ数値だった。 第六学年では、目標値に比べ1.5ポイント上回っていた。	第五学年では、目標値に比べ7.2ポイント下回っていた。 第六学年では、目標値に比べ1.9ポイント下回っていた。	第五学年では、目標値に比べ14.1ポイント下回っていた。 第六学年では、目標値に比べ1.9ポイント下回っていた。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
ドリルや漢字練習帳を使い、漢字の読み方、書き順、使い方が確実に覚えられるように家庭学習や小テストに取り組む。	互いの話を集中して聞き、話題に沿って話したり聞いたりすることができるようにペアや小グループ、全体での話をする活動に取り組む。 自分の経験した事柄を順序良く書けるように日記を書く活動に取り組む。 役割読みや絵・写真等の読解の手立てとなる教材を手がかりに、物語文は豊かに、説明文は的確に読み取る活動に取り組む。	進んで学習することができるように、身近なことや経験したことを題材にした学習に取り組む。

#### （2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
漢字の読み書き、使い方の練習を家庭でも繰り返し行うようにし、家庭学習や小テストに取り組む。国語辞典を活用し、調べる習慣をつけ、語彙力をつける。	互いの共通点や相違点を考えて話したり聞いたりすることができるようにペアや小グループ、学級全体で話し合う活動に取り組む。 段落相互の関係を理解し、適切な接続語を使って文章を書く活動に取り組む。 目的やテーマ、身につけさせたい技能を明確にし、日記や短作文などで、書く機会を多く設定する。 文章の要点を正しく理解し、段落相互の関係がつかめるように読み取る活動に取り組む。	工夫をしながら楽しく学習することができるように、目的に合わせた様々な題材に取り組む。

#### （3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
国語辞典を活用し、調べる習慣をつけ、語彙力をつける。 漢字の定着を図るために小テストを繰り返し行うようにし、家庭学習にも取り組む。	互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話したり聞いたりすることができるように提案や討議などの活動に取り組む。 テーマや課題に応じて、文章全体の構成を考えながら文章を書く活動に取り組む。 書く際に、相手意識や目的意識をもたせる。 物語文や説明文の内容を叙述に注意しながら要旨を捉えたり人物の心情をとらえたりする。	考えを広げたり深めたりしながら学習することができるように、目的や意図に合わせた様々な題材に取り組む。